

令和4年度 ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究事業

兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課

【目的】ICT機器の効果的な活用を進める中で、遠隔システムを利用した障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための自立活動の指導及び遠隔による通級による指導について研究し、障害のある児童生徒の学びの保障とICT活用に関する教職員のさらなる資質向上に資する。

研究内容

(1) ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方調査研究

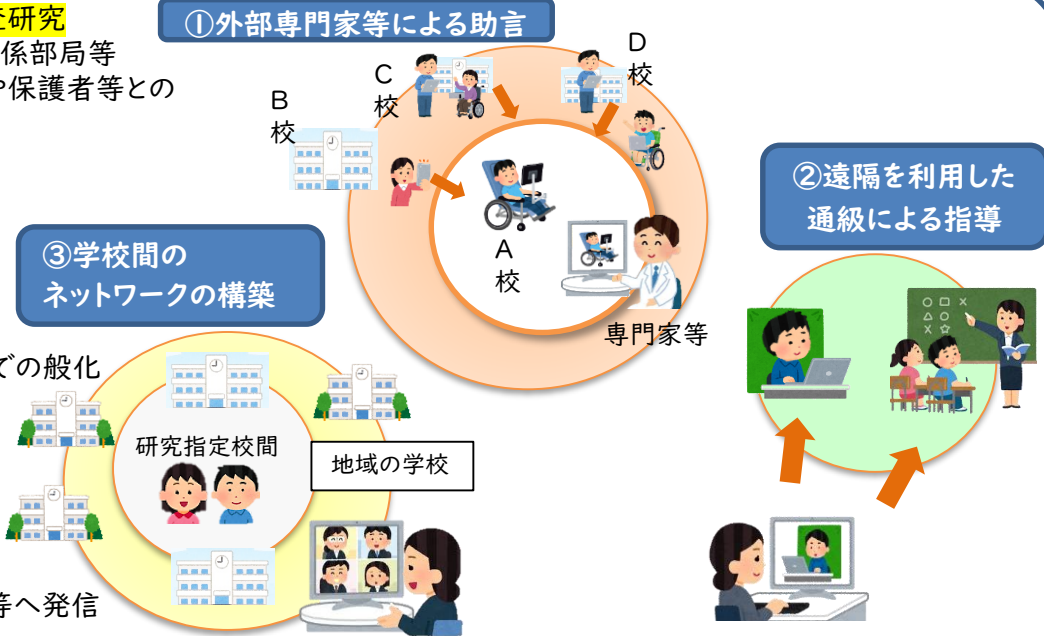
- ・構成員 学識経験者、学校関係代表者、保護者代表者、関係部局等
- ・検討内容 効果的な指導の実践と学習評価、外部専門家や保護者等との連携等

(2) 指定校による調査研究

- ①障害のある児童生徒がICT等の活用により、コミュニケーション力を向上させるため、外部専門家による遠隔システムを用いた指導・助言を得て、自立活動の指導の工夫・改善に生かす
- ②遠隔システムを併用した通級による指導及び通常の学級での般化（聴覚障害、LD・ADHD等）のモデル構築
- ③遠隔システムを活用した研究指定校間や地域の学校との情報共有の手続きの検討・ネットワークの構築

(3) 研修会・研究発表会の実施

- ・自立活動、ICT活用講座の実施
- ・モデル研究校の実践を県内の特別支援学校や小・中学校等へ発信



指定校の実践発表やICT専門家等の派遣による研究の成果を、全県に普及・啓発



どの市町・どの学びの場においても実施できるよう、効果的で効率的かつ組織的な自立活動の指導体制を構築